

第八十一回帝國議會
衆議院

農業團體法案外一件委員會會議錄(速記)第九回

昭和十八年二月九日(火曜日)午前十時十九分開議

出席委員左ノ如シ

委員長 東郷 實君

理事白川 久雄君 理事恒松於菟二君

理事成島 勇君 理事西川 貞一君

理事濱地 文平君 理事山田 六郎君

理事吉田 正君

青山 憲三君 赤城 宗徳君

石坂 繁君 石坂 養平君

五十嵐吉藏君 馬岡 次郎君

大石 大君 岡田啓治郎君

奥 久登君 越智太兵衛君

加藤 知正君 金子彦太郎君

北勝太郎君 小山邦太郎君

小平 權一君 眞藤慎太郎君

鈴木 重次君 杉山元治郎君

高田 紘平君 土屋 源市君

中井 亮作君 平野 力三君

松原五百藏君 松山常次郎君

前川 正一君 間宮 成吉君

山口左右平君 山口馬城次君

吉植 庄亮君

出席國務大臣左ノ如シ

農林大臣 井野 碩哉君

出席府政委員左ノ如シ

農林次官 石黒 武重君

農林省總務局長 重政 誠之君

農林省農政局長 石井英之助君

農林省水產局長 寺田 省一君

農林書記官 藤田 巖君

本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ

農業團體法案(政府提出)

水産業團體法案(政府提出)

○東郷委員長 會議ヲ開キマス——大石大君

○大石(大)委員 私ハ自作農創定ノコトニ

付テ御尋ネシタイト考ヘテ居リマシタガ、

過般來ノ質問應答ニ依リマシタ、大體政府

ノ意ノアル所ヲ了承致シマシタ、唯一點創

定ノ方法、手段ニ付キマシタ、少シ疑問ガ

アリマスノデ、御尋ネ致シタイト思ヒマス、

小作人ノ土地ノ買入ノ價格ニ付キマシタハ、

色々論議モセラレタヤウデアリマスガ、之

ヲ公定價格デ買取ラスト云フコトガ大體原

則ノヤウデアリマス、其ノ場合ニ凡ソ價格

ノ何割程度マデ勸業銀行カラ金ヲ出スカト

云フ其ノ目標ト申シマスガ、此ノ點ヲ伺ヒ

タイト思ヒマス、ドウセ從來トハ違ヒマセ

ウケレドモ、勸業銀行ガ金額ヲ貸スモノト

ハ思ヒマセヌ、然ラバ勸業銀行デ借入レタ

金ト、後足ラナイ不足ノ分ハ、各小作人ガ

用意シナケレバナラスト思ヒマスガ、是等

ニ對シマシタハ政府當局トシテハドウ云フ

ヤウナ御考ヲ持ツテ居ラレマスガ、之ヲ伺

ヒタイト思ヒマス

○井野國務大臣 先般モ自作農創定資金借

入限度ト申シマスガ、ソレ等ニ付テ色々御

質問ガアリ、御希望トシテハ公定價格全額

ヲ廻シテ貰ヒタイト云フ御希望モアツタノ

デアリマス、併シ是等ハ金融機關ノ今後ノ

取扱方針色々相談致シマセヌト、此處デ

ハツキリ御答ヘハ出來ナイノデアリマス、

併シ勸業銀行ノ自己資金ニアラズシテ、預

金部資金ヲ以テ之ニ充テルノデアリマスガ

ラ、後ニ政府ガ萬一ノ場合ニ補償スルトカ

云フヤウナコトモ、是カラ先考ヘラレル問

題デアリマスカラ、隨テ出來ルダケ多クノ

資金ヲ借スヤウニ、政府トシテハ努力致シ

タイト考ヘテ居リマス

○大石(大)委員 此ノ間豫算總會デ三善信

房君デアツタカト思ヒマスガ、日滿ヲ通ジ

タ食糧對策ガ必要デハナイカ、斯ウ云フ御

尋ネニ對シマシテ、農相ノ御答辯ニナツタ

點デアリマス、又新聞ノ傳ヘル所ニ依レバ、

滿洲ハ食糧ノ源泉デアアル、斯ウ云フヤウニ

言ハレテ居リマスガ、日滿ノ食糧ヲドウ云

フヤウニ融通シテ居ルカ、或ハ此ノ席上デ

御發表ガ出來ナイカモ知レマセヌガ、大豆

トカ雜穀ハ向フノ供給ヲ受ケ得ルト聞イ

テ居リマス、又反對ニ米ハ向フカラ要求モ

アリ、或ハ日本ノ方カラ融通シタ如クニ聞

イタコトモゴザイマスガ、一體滿洲ハ食糧

ニ對シマシテ、自給自足ガ出來テ居ルノデ

アリマセウカ、尤モ是ハ農林省ノ主管デハ

ナイカモ知レマセヌガ、前拓務大臣ヲサレ

テ居ツタ關係モアリマスノデ、一應御尋ネ

致シマス

○井野國務大臣 滿洲ノ大豆雜穀ハ別ト致

シマシテ、米麥等ニ付キマシテノ自給關係デ

アリマスガ、今日大體普通作デアリマスレバ

自給ノ出來ル程度ニナツテ居リマス、唯作

柄如何ニ依リマシテ、或ハ内地カラ補給シ

ナケレバナラスト云フ狀態デアリマスケレ

ドモ、併シ最近ニ於キマスル開墾ノ進捗狀

況、又滿洲國政府トシマシテモ主要食糧ニ

對スル自給ヨリ、寧ロ進ンデ内地ヘ供給シ

ヨウト云フ氣持デ今指導致シテ居リマスル

カラ、是カラ先ハ益、サウ云フ點ニ付テハ

増産ガ可能デアルト考ヘテ居リマス

○大石(大)委員 昨春秋以來農政研究會デ

食糧對策ヲ色々研究シタ時ニ、日滿支ヲ通

ジテノ食糧對策ト云フコトガ問題ニナリマ

シテ、私ハ昨年十一月カラ十二月ニ掛ケテ、

滿洲ノ食糧事情ヲ視テ參ツタノデアリマス、

サウ廣ク廻ツタ譯デハアリマセヌガ、公主

嶺ノ農事研究所邊リニ參ツテ聽イテ見マス

ト、昨年ハ非常ニ減作デアツタ、其ノ減作

ノ原因ハ無論勞力ノ不足デアアル、華北カラ

數十萬ノ勞力ヲ仰イデ居リマスルシ、國內

ニ於キマシテモ五萬程ノ農業豫備軍ハアル

ガ、是等ノモノハ自ラ工場ニ轉向スルト云

フノデ、是モナクナツタ、ソコデ除草ガサ

ツパリ出來ナカツタ、ソレデ除草ノ季節ニ

ハ南滿デハ最高八圓、最低デ五、六圓ノ勞

賃、ソレデモ中々勞力ガ得ラレナイ、要ス

ルニ滿洲ノ農業ハ雜草トノ鬭爭デアアルガ、

其ノ爲ノ勞力ガ得ラレナイト云フコトハ非

常ナ支障デアルト思フ、モウ一ツハ長イ間

掠奪農業ヲヤツテ來タ爲ニ、地力ガ段々

減退シタ、色々統計モ貰ツテ來テ居リマスガ、

要スルニ建國以來耕地面積ハ三七%殖エテ

居ルケレドモ、收穫ハ僅ニ五%シカ殖エテ

居ナイ、是ガ地力ノ減退ヲ雄辯ニ物語ルモ

付託議案

農業團體法案(政府提出)(第四五

號)

水産業團體法案(政府提出)(第四

六號)

ノデアルト申サレテ居ツタ、此ノ狀況ヲ見
テモ私ハ非常ニ悲觀シテ歸ツタノデアリマ
ス、而モ勞働力ハ向フデハ益、減ツテ居ル
ト思フ、此ノ惡條件ヲ如何ニ克服シテ、今後
滿洲ノ農業ヲ發展セシメ、而シテ生産ヲ増
強ナラシムルカト云フコトニ付キマシテ、
何カ御考ヘガアレバ承ツテ置キタイト思ヒ
マス

○井野國務大臣 滿洲國政府ノ問題デゴザ
イマスカラ、或ハ大東亞大臣カラ御答ヘスル
ノガ適當デアルト思ヒマスケレドモ、私ノ
知ツテ居リマス最近ノ事情ニ於テハ、滿洲
國モ今マデハ重工業方面ニ非常ニ力ヲ入レ
テヤツテ参リマシタガ、今後ハ農産物ニ對
シマシテ相當ノ力ヲ入レタイト云フコトデ、
最近色々ナ新ナル計畫ヲ立テテ居リマス、
今御話ノヤウニ滿人ノ農業自體ハ、從來ノ
掠奪農業ト申シマスカニ依ツテ、地力ノ減
退シテ來タコトハ御話ノ通りデアリマス、
又努力ノ不足シテ居ルコトモ御話ノ通りデ
アリマスガ、是ハ政府ノ指導如何ニ依リマ
シテハ、相當ニマダ伸ビ得ル餘地ガアルノデ
アリマス、今マデハ政府ハ主トシテ大豆、
雜穀ニ重キヲ置イテ居リマシタノデ、片方
ノ内地ノ主要食糧デアアル米麥等ニハ、餘リ
重點ヲ置イテ獎勵シテ居ナカツタノデアリマ
スガ、今後ハ大イニ之ヲヤルト云フ計畫ヲ
立テテ居リマスノデ、自然サウ言ツタ方面
ニ於テモ將來發展性ヲ持ツテ居ルト考ヘテ
居リマス

○大石(大)委員 食糧増産對策ニ付テ御尋
ネシタイト思ヒマス、此ノコトモ最早論ジ
盡サレテ居リマスカラ私ハ多クヲ申シマセ
ヌガ、要スルニ食糧増産ニ對スル農民ノ熱
意ヲ昂揚セシムル、即チ責任觀念ヲ強化セ

シムルト云フコトガ第一必要ノ條件ト思ヒ
マス、所ガ私ノ感ズル所デハ、今日政府ガ
ヤツテ居リマス増産ノ指導其ノモノハ、其
ノ責任觀念ヲ薄弱ナラシムル嫌ヒガアリハ
シナイカ、斯ウ云フコトヲ疑フモノデアリ
マス、大凡増産ヲ指導致シマスナラバ、此
ノ村ニハ農業ノ勞力ガ何シボアル、先ヅ之
ニ見當ラ付ケマシテ、而シテ此ノ村ニハ炭
ハ何ボヤラス、麥ハ何ボ作ラス、養蠶ハ何
ボヤラス、斯ウ云フ計畫ヲ立テテ、而シテ
割當ヲシテ行クナラバ宜イノデアリマスガ、
今日ヤツテ居リマスル所ヲ見マス、麥ナ
ラバ反別ヲ以テ要求スル、炭ハ固ヨリ實數、
蠶繭其ノ通り、所ガ地方ニ於キマシテハ、
農政課、林業課、蠶絲課ト云フモノガ少シ
モ有機的綜合性ガナイ、皆ガ與ヘラレタ自
己ノ所管ノミヲ見詰メマシテ獎勵スルノデ
アリマスカラ、到底不可能ナコトヲ要求シ
テ居ルノデアリマス、斯ウ云フ例ヲ一ツ
一ツ申上ゲルコトハ煩ニ堪ヘマセヌガ、一
ツノ例ヲ申シマスルト、高知縣ニ直グ市ノ
近クニ鏡村ト云フ村ガアリマスガ、此ノ鏡村
ニ大利ト云フ部落ガアリマシテ、此處ニハ
十一町歩シカ耕作面積ガナイ、之ニ十五町
ノ麥ノ割當ガ行ツタ、部落ノ大崎勇ト云フ
實行組合長ハ、到底畑ガナイト言ウテ拒ミ
マシタケレドモ、村長ナリ、農會長ナリ、縣
ノ出張員ガ、無イト言ツテモ帳面ノ上ニソ
レガアルト言フ、段々調べテ見マスト曩ニ
杉ヲ植エマシタガ、其ノ杉ガ成長スル間、
二、三年麥ヲ作ツテ肥料ノ配給ヲ受ケテ居
リマス、ソレガ反別ノ殖エテ居ル一ツノ原
因ヲシノデアリマス、是非之ヲ是正シテ貫
ヒタイト申シマシテモ、是ハモウ高知縣ニ
何ボト云フ反別ノ割當ガ來テ居ルカラ、オ

前ノ部落デヤラナケレバソレダケ減ルコト
ニナルカラ困ル、マアサウシテ置イテ呉レ、
穫レナクテモ宜シイ、斯ウ云フ譯デ話ガ付
イタノデアリマス、實ハ私モ其ノ話ニ立會
ウタノデゴザイマスガ、斯ウ云フコトハ到
ル處ニアリマス、麥ヲ五反仕付ケマスナラバ炭
ハ絕對ヤレナイ、炭ヲ命令通りヤリマスナ
ラバ麥ヲ作レナイ、肥料モ買ヘナイ、此ノ
三ツノ事柄ハ、一ツハ出來ルガ、後ノ二ツハ
出來ナイコトニナリマス、ソコデ何時モ獎
勵ニ來ラレル方ハ、マアサウシテ置イテ呉レ、
私ノ手許ガ困ルノダカラ、斯ウ言ハレテ居
リマスカラ、此ノ頃ノ農民ハ何デモ呑込シ
デ居ル、現ニ又ソレガ出來ナクテ、昨年
六百貫ノ木炭ヲ請負ウタモノガ百五十貫出
シテ濟ンデ居リマス、總テ其ノ通りデア
ル、サウナルト、モウオ上カラ言ハレルコ
トハ、マア宜シウゴザイマスト呑込シデ置
イテ、セナクテモ宜シイ、セナクテ事ガ立
ツテ行ク、斯ウ云フコトガ段々ト農民ノ
生産ニ關シマスル所ノ責任觀念ト云フモノ
ヲ破壊スル虞ガアリマス、凡ソ此ノ戰時下
ニ於キマシテ、各々職域ニ對シテ責任觀念
ガナクナリマスレバ大變デアル、斯ウ云フ
指導方針ハ、私ハ御改メヲ願ハナケレバナ
ラナイ、斯ウ考ヘルノデアリマス

產統制ガ行ハレス以前デアリマシタナラ
バ、ソレハ引合ハナクテモ、其ノ引合ハナ
イ點ハ、他ノ園藝蔬菜ナリ、或ハ私ノ方デ
ハ疊表ヲ澤山作りマスガ、斯ウ云フモノデ
補ヒガ付イテ居ツタノデアリマス、ダカラ
米ヲ作ツテ引合フトカ引合ハヌトカ言フ必
要ハナカツタ、所ガ今日ハ生産ヲ統制サレ
マシテ、金ノ入ル途ガナイノデアリマス、
而シテ農村ノ支出ハ物價高ノ爲ニ多クナツ
テ來ルノト、今一ツハ公債ノ引受デアリマ
ス、私ハ高知ニ半分、東京ニ半分、コチラ
ハ世田ヶ谷ニ居リマスガ、隨テ公債ノ割當
ガ來マスケレドモ、農村ト都會トハ非常ニ
割當方ガ違フ、農村デハ住民稅ヲ標準トシ
テ割付ケテ來ルノデアリマス、ソレヲ斷ハ
ラウモノナラ、或ハ減額ヲ要求スルモノナ
ラ、直チニ非國民扱ヒヲサレル、是ガ地方
ニ依ツテ違ヒマセウガ、先ヅ高知縣アタリ
デハ一町歩ノ自作農ハ、ドウシテモ二百圓
位買ハナケレバナラス、斯ウ云フ風ニ、始
末ヲシヨウニモ始末ノ出來ナイ、ドウシテ
モ絕對的ニ買ハナケレバナラス所ノ税金ト
同ジ公債ト云フモノガ來ルノデアリマス、
ソコデ昔ノヤウニ園藝ガヤレルナラバ、園
藝ヲヤツテ其ノ金ヲ融通シマスケレドモ、
ソレガ出來ナイ、ソレデモ一ツノ特例ダ
ケ申上ゲテ置キマスガ、高知縣ノ安藝郡ニ
和食、馬ノ上、西分、赤野ト云フ村ガアリ
マス、是ガ高知縣ノ園藝ノ早作りヲ出ス所
デス、是ガ生産統制ニ依ツテ金錢收入ノ途
ガ絶エルガ爲ニ、公債ヲ引受ケル爲ニハド
ウシテモ他デ働カナケレバナラスト云フ爲
ニ、昨年麥ノ蒔付ヲヤリマシタガ、一反歩
ニ八斗モナカツタ、段々ソレヲ調ベテ見マ
スト、皆高知市ノ方ニ、或ハ水道ノ溝浚ヒ

トカ、或ハ臨時ノ電線ノ附替ヘトカ云フヤウ
ナ勞働ニ出掛ケマシテ、サウシテ勞働賃ヲ取ツ
テ來テ公債ニ充テテ居ル、斯ウ云フ譯デス、
デアリマスカラ、如何ニ皇道農村ノ意義ヲ農
民ガ體得致シマシテモ——固ヨリ引合ハヌ
カラ作ラヌト云フノハイカヌト云フコト
ハ、能ク認識モ出來テ居リマスガ、如何ニ
皇道農民ヲラシト欲シマシテモ、傍ラ公債
ノ重壓ガアル以上ハ、先ツソレヲ放ツテ置
イテ、金ヲ取ル方ヘ行カナケレバナラス、
サウシマス、増産ト云フモノガ出來ナイ
コトニナル、ダカラドウシテモ茲ニ價格ノ
是正ト云フコトハ、斯ウ云フ點カラモ、生産
費ノミ御考ヘテ置カズ、實際日本ノ現在ノ
農村ノ實情ニ即シテ御考ヘテ願ヒタイ、今
一ツハ自作農創定ヲ致シマシテモ、昔ノヤ
ウニ多角形農業經營ガ出來マスナラバ、其
ノ負債モドン／＼拂ツテ行ケマスガ、米、
麥其ノ他ノ現在ノ日本ノ主要食糧ヲ耕作シ
タノミデハ、私ハ負債ヲ拂ツテ行クコトガ
困難デハナイカト思フ、サウスルト米價ヲ
此ノ儘放ツテ置クト、自作農創定ト云フコ
トニ於テ一ツノ禍根ニナリハシナイカ、斯
ウ云フ風ニ考ヘテ居リマス、ソコデ増産ノ
熱意ノ高調、責任觀念ヲ高調スルノニハ、今
ノ指導方針ヲ御改メニナツテ行カナケレバ
ナラス、價格ノ點ハ固ヨリ生産費ニ重點ヲ置
カナケレバナリマスマイガ、生産費ノミナ
ラズ、現在農民ガ金ヲ取ルニ困ル、取ルト
云フト語弊ガアリマスガ、金ヲ出スニハ現金
ニ依ラナケレバナラス、色々ノ重壓ガアリ
マスカラ、其ノ點モ御考ヘ願ヒタイト思フ
ノデアリマス

次ハ勞働力ノ問題デアリマス、私ハ價格
ノ是正ト、熱意ノ昂揚ト、勞働力ノ強化ガ

出來ナケレバ増産ガ出來ナイト思フ、是サ
ヘ出來レバ増産ハ彌ガ上ニモ出來ルト思フ、
併シ勞働力ノ問題モ、過般來同僚諸君カラ
縷々御述ベニナツテ居ルノデアリマスガ、
又此ノ上段々ト農村ノ勞働力ハ減リハシナ
イカ、併シ一面重點主義カラ軍需工業ノ
方ニ持ツテ行カレコトモ已ムヲ得ヌ、ソ
コデハ農林大臣ト云フヨリ國務大臣ト
シテ御尋ネシタイト思ヒマスガ、今ノ都會
ノ不生産の人口ヲ農村ニ還元セシメテ、是
ガ農業事業トナラナクテモ、自分ノ食フダ
ケノモノヲ何カ作ラス、學校ノ如キモサウ
デアル、戦力増強ノ上ニ直接適切ナル教育
ハヤツテ行クガ、會社員トカ、事務家ヲ養
成スル方面ノ學校ハ暫ク休ンダラドウカ、
例ヘバ法科トカ文科トカ云フモノハ暫ク休
ンダラドウカ、隨テ下ノ中等學校モ其ノ方
針デ行ク、私ハモウソコマデ行カナクテハ
ナラス段階ニナツテ居リハセヌカト考ヘル
ノデアリマス、サウシマスナラバ、農村ノ
勞働力モヨリ以上増加スルノデアリマス
カラ、之ニ依ツテ初メテ増産ノ目的ガ達ス
ル、此ノ三ツガ揃ハナケレバ私ハ此ノ上大
キイ増産ヲ望マレヌト思フノデアリマスガ、
政府ノ御考ヘハドウデアリマスカ伺ヒタイ
○井野國務大臣 各種農産物ノ増産ノ指導
ノ問題デゴザイマスガ、今御話ノ通り指導
行政機關ガ個々ニ分レテ居リマス、受ケ
ル農村トシマシテハ、其ノ何レノ生産力ヲ
舉ゲルカト云フコトニ色々惱ミガ生ジテ參
リマスコトハ、御話ノ通りデアリマス、縣
ノ各課ガ分レテ居リマスガ、之ヲ統帥シテ
居リマスノガ經濟部長デアリ、更ニソレヲ
知事ガ統轄シテ居ルノデアリマスカラ、是
等ノ點ニ付テハ今日ハ全ク經濟部長自ラ陣

頭指揮ヲ致シ、色々ノ實情ニ即シテノ指導
ヲ致シテ居ルノデアリマシテ、偶、サウ云
ツタ場所モアルトハ思ヒマスガ、全國的ニ
見マスレバ、今日ハ比較的良好統帥サレテ
指導ガ出來テ居ルト思フノデアリマス、併
シ御話ノヤウナ點モアリマスカラ、今後サ
ウ云フ點ニ付テハ十分考慮シテ參リタイ
ト思ツテ居リマス、又價格ノ問題モ御話ノ
通り色々ノ點ニ於テ農村トシテハ辛イ所モ
アラウト思ヒマス、併シ公債ノヤウナモノ
ハ税トハ違ツテ自ラノ財産ニナルモノデア
リマスシ、割當テラレタモノガ自己ノ收入
ヲ以テ買ヒ得ナイ時ハ、其ノ事情サヘハツ
キリサセマスレバ、決シテ強制的ニ公債ヲ
持タセルコトモナイノデアリマシテ、唯農
民ハ實直デ、オ上ノ割當ハ必ズ何トカシテ
持タウト云フ氣持カラ、無理ヲサレル向キ
モアルノデアリマス、是ガ又農村ノ美シイ
所デアルト思ヒマス、ソレモ一方ニ於テ其
ノ無理ガアルモノヲ、是非サウシナケレバ
ナラヌト云フモノデモナイノデアリマスカ
ラ、ソコハ指導者ガヤハリ十分考ヘテ、農
村ヲ善導シテ行カナケレバナラスト考ヘテ
居ルノデアリマス、又勞力ノ問題ニ關聯致
シマシテ、都會ノ人口ヲ農村ニ分散セシム
ルト云フコトモ、世間色々ノ御意見モア
リマス、學校ノ制度ヲ變ヘルト云フコトモ
一ツノ方法カモ知レマセヌガ、併シ今日ノ戰
争ハ長期戰デアリマスシ、ヤハリ法文科ノ
人員ト云フモノモ相當國家的ニ需要セラレ
テ居ルノデアリマスカラ、之ヲ廢メテ全部
工業、農業ノ方ニ持ツテ來ルト云フ譯ニモ
參ラナイノデハナカラウカ、文教ノ問題ハ
文部大臣責任ヲ持ツテ色々考ヘテ居ラレマ
スカラ、大體之ニ從ツテ今日ノ教育ヲ進メ

テ行カナケレバナラスト考ヘテ居リマス、
サウ云フヤウナ譯デ色々各觀點カラ見マス
ルト、斯ウスレバ宜イ、アスレバ宜イト云
フ問題モアリマスガ、綜合的ノ戦力増強、並
ニ大東亞戰爭完遂ノ建前カラ考ヘテ行キマ
スト、一部ニ於テ無理ナ場合ニモ、其ノ無
理ヲ或ル程度克服シテ成シ遂ゲナケレバナ
ラスト云フコトガ、各部面ニ於テ今日ハ國
民ニ課セラレタル大キサ課題デアリ、責務
デアアルノデアリマス、デアリマスカラ農林
關係ニ於キマシテモ、農林ニ課セラレタル
増産ノ責任、又分配ノ公正ト云フ問題ニ付
キマシテハ、私モ各方面ニ色々無理ナ、
又不平ノアルコトモ能ク承知シテ居リマス
ケレドモ、是ハ何ト申シテモ現在政府ガ執
リツツアリマスル方針ヲ徹底セシメマシテ、
是ガ完遂ヲ圖ツテ行クコトガ適當デアル、
斯ウ云フ風ニ考ヘテ居ル次第デアリマス
○大石(大)委員 經濟部長ガ一切ノ統轄ヲ
ナサツテ居ルコトハ承知シテ居リマスガ、
私ノ縣ニハ經濟部長ガアリマセヌカラ内政
部長デアリマスガ、私ハ麥ノ増産ノ如キハ
耕作反別ヲ要求スルヨリモ、石數デ責任ヲ
負ハシタラ宜イデヤナイカト思フノデアリ
マス、私ノ縣ハ——他モサウデハナイカト
思ヒマスガ、高知縣ニ限ツテ居ル話カモ
知レナイト思ヒマスガ、麥ハ種子麥ヲ受ケ
マシタ以上ハ、全部供出セナケレバナラス
コトニナツテ居リマス、ソレデ一面ハ反別
ニ依ツテヤツテ居ル、所ガ五反作りマシテ
二俵シカ穫レナイ、五反ノ耕作ヲシ播付ケ
ヲ致シマスコトハ非常ナ勞力ヲ要スル、ソ
レヨリモ二反作ツテ十俵穫ツタ方ガ遙カニ
宜イ、ソコデ石數ノ責任ヲ持タセマスナラ
バ、良イ麥ヲ二反作ツテ、十俵ノ責任ヲ持

ツテ居ルナラバ十俵出ス、サウシテ自分ノ方ノ食糧ニ欲シイ、或ハ牛馬ニ食ハシタト云フ時ハ、モウ二反作ツテ十俵獲ルト云フ風ニナツテ、農民ガ非常ニ勵ミガ出ルト思ヒマスガ、今ハ全部ヲ出スノデアリマスカラ、實際ハ百姓ハ保有米ガ足りナイ、麥ハ食ヒタイガ全部出サナケレバナラス、併シ拂下ハ受ケテ居リマス、此ノ拂下ノコトデゴザイマスガ、政府ガ取ル時ニハ十六貫ナケレバイケナイ、サウシマスルト少シ濕氣ノアル土地ニ出來タモノ、或ハ日當リノ惡イ方面ノ麥ハ四斗四、五升モナケレバ十六貫ニナラス、今度拂下ゲル場合ニハ精麥デ四斗貫ツテ居ルノデアリマスカラ、其ノ間ノ開キガ多イ、ソコデ原麥ノ拂下ヲ要求シテモ是ガ許サレナイ、斯ウ云フコトデアリマス、是ハ御尋ネガ二ツニナリマスガ、石數デ以テ獎勵ヲスルト云フコト、サウシテ保留麥ヲ政府ハ御認メニナル御考ヘハナイカ、此ノ二點ヲ御尋ネ致シマス

○井野國務大臣 麥ノ生産割當ニ付キマシテ反別デ致スベキカ、或ハ石數デ致スベキカト云フ問題ガアリマスコトハ承知シテ居リマス、唯農作物ハ豊凶ニ依ツテ餘程其ノ收穫量ガ支配サレマスカラ、石數デ割當テタ場合ニ非常ニ作ガ惡イト云フ時ニハ、農民ハソレダケノ石數ヲ出ス責務ヲ果シ得ナイコトニナリマス、サウ云ツタ氣候ニ責任ヲ左右サレルヤウナ行キ方ガ適當デアルカ、或ハ反別デアリマスレバ、ソレダケノ反別ヲ作ルト云フコトニ於テ責務ヲ果シマシテ、其ノ收穫ガ天候關係等ニ依ツテ左右サレマシテモ、ソレハ農民ノ責任デヤナイト云フコトニナリマスカラ、ヤハリ農民ニ責任觀念ヲハツキリ植付ケサセテ行キマス

ニハ、反別ノ方ガ適當デヤナイカト云フノデ、反別割ニ致シテ居ルノデアリマス、併シ供出量ニ付テ一應ノ割當ヲシテ貫ツタ方ガ宜イト云フ御議論モアリマスノデ、政府ハ折角其ノ問題ニ付ニハ今研究ヲ致シテ居リマスルカラ、結論ヲ得マシタナラバ何レカノ方法ニ決定致シタイト考ヘテ居リマス、又麥ノ自家用保有ニ付キマシテモ、米ノ如ク人口カラ割出シテノ一定數量ガ決マリ得マスレバ、ソレモ一ツノ行キ方デアリマスケレドモ、麥ノ從來ノ消費實情ト云フモノハ、米トハ餘程違ツテ居リマスノデ、自家保有ノ計算基礎ヲ得難イ、其ノ爲ニ一應出シテ戴キマシテ、必要ナルモノヲ拂下ゲテ行クト云フ行キ方ヲ取ツテ居ルノデアリマシテ、是モ暫クシテ色々ナ實績等ガ纏マツテ參リマス、或ハ自家用保有ト云フコトモ考ヘラレルカト思ツテ居リマス

○大石(大)委員 麥ノ拂下デアリマスルガ、原麥デ拂下ヲ受ケマスナラバ、農村ニハ之ヲ精麥ニ致シマス設備モ遊ンデ居リマス、サウシテ又糠モ得ラレマシテ、牛馬、鶏等ノ飼料ニモナル譯デアリマス、非常ニ原麥拂下ヲ要望致シテ居リマスルガ、之ニ對シマシテ政府ノ方ハドウ云フ考ヘデアリマスカ御伺ヒ致シマス

モウ一ツ近來都市ノ附近ノ野菜ト云フモノガ非常ニ減ツテ參リマシタ、高知市等モ殆ンド昨年ハ野菜ノ飢饉デアツタ、段々其ノ原因ヲ調べテ見マスルト、色々ノ理由モアルヤウデアリマスルガ、主ナル理由ハ中央卸賣市場ニアリマスル青果會社ニ一應皆集メルノデアリマスガ、是ガドウモ利潤追求ノ舊觀念ガ清算セラレテ居ラナイ、ソコデ高知市ニ野菜ヲ農民ガ持ツテ參リマス、今日ハ非

常ニ荷ガ澤山出タカラ公定デハ買ヘナイト云フ譯デ、例ヘバ胡瓜百匁七錢公定ナラバ、五錢ナラ置イテ行ケ、ソレデナイト捌キガ付カナイト農民ガ言ハレル、折角遙々持ツテ來タモノヲ持ツテ歸ル譯ニモ參リマセスカラ、言フガ儘ニ賣ツテ行ク、所ガ市中ノ小賣店ニソレガ出マスルト、自分等ガ現ニ出シタ茄子モ、胡瓜モ、依然トシテ公定デ賣ツテ居ル、斯ウ云フコトカラ御規則通りニ青果會社ニ持ツテ行ケバ、サウ云ツテ刎ネラレル、農民自ラデハ五貫目以上ハ賣ラレナイ、是デハイソツ作ルコトヲ止メタガ宜カラウト云フコトガ、昨年非常ニ野菜ノ飢饉ヲ起シタ原因ニナツテ居ル、若シモ其ノ制度ニナツテ居リマス以上ハ、如何ニ荷ガ澤山來マセウガ、其處デ引受ケセシメナケレバナラス、是ハ固ヨリ政府ノ施設デモゴザイマセヌカラ、政府ニ對スル不平デモアリマセヌガ、左様ナ觀念ガマダ拔ケ切ラヌ者ガ居リマスカラ、之ニ對シマシテハ政府ニ於テ相當ノ監督ヲシテ戴キタイト云フコトヲ申上ゲテ置クノデアリマス

次ハ永小作ノ問題デアリマス、舊慣永小作ノ性格等ニ付キマシテハ、此ノ議會デモ數年來、二十年來、モツト古ク言フナラバ五十年來ト云フコトモ言ヘル、明治三十一年カラ起ツタ問題デアリマシテ、論ジ盡サレテ居リマスルカラ、私ハ多ク申上ゲマセヌガ要スルニ舊慣永小作權ナルモノハ、其ノ出來タ當初ヨリシテ、自分ノ所有權デアアル、自分ノ所有不動産デアルト云フ觀念デ、之ヲ祖先ニ承ケ子孫ニ傳ヘテ來テ居ツタノデアリマス、ケレドモ明治三十一年民法ガ發布セラレテ、而シテ施行法ノ第四十七條

第三項ニ依ツテ五十年ノ曉ニ消滅スルコトニナツタ、ソコデ全國ノ舊慣永小作權者ガ非常ナ動搖ヲ來シマシテ、明治三十二年ニ議會ニ向ツテ大運動ヲ致シタノデアリマス、其ノ結果施行法ガ改正セラレテ、五十年ノ曉ニハ先ヅ地主ガ相當ノ補償ヲ拂ツテ永小作ヲ消滅セシメル、地主ガソレヲヤラナイ場合ニハ、更ニ一年內ニ小作人ガ買取ラナケレバナナイ、若シ買取ルコトガ出來ナイ場合ニ於テハ消滅スルコトニナツテ居リマス、其ノ五十年ノ期限ガ此ノ昭和二十三年ニ迫ツテ居リマス、ソコデ確カ有馬頼寧伯農相ノ時代ト思ヒマスルガ、農地法ガ制定サレマシタ時ニ、此ノ問題ヲ論議セラレマシテ、折角ココニ農地法ガ出來ルノニ、此ノ舊慣永小作ノ整理ト申シマスカ、何カココニ永小作ニ關スル所ノ規定ガナケレバナラヌデヤナイカト云フコトガ問題トナリマシテ、遂ニ議會ハ修正ヲスルト云フコトニナリ、修正ノ案モ出タノデアリマス、ケレドモ當時ノ農相竝ニ司法省ヲ代表シテ、確カ今日ノ次官デアアル大森サシデアツタと思ヒマスルガ、舊慣永小作權ノ問題ハ別個ニ決メル、農地法カラ除イテ別個ノ法律ニ依ツテ之ヲ整理スル、サウシテ事變ガ終了次第アル、所ガ當時アノ支那事變ガ是程長引クトハ想像モ付カナカツタデアリマセウ、併シ政府ハサウ申サレマシタケレドモ、委員ト致シマシテハ明年ヤツテ戴キタイ、次ノ議會ニヤツテ戴キタイト云フコトヲ要求シタノデアリマスガ、ソコハハツキリ政府ノ答辯ハナカツタノデアリマス、所ガ戦力増強ノ至上使命トシテ食糧増産ガ必要ナ場合、殊ニ耕作權ノ安定ト云フコトガ一番先デハナイカト云フコトヲ、隨分本議會ニモ此ノ委員會ニ

モ論ゼラレタノデアリマスルガ、舊慣永小作權者ハ相當不安ヲ覺エテ居リマス、今日ノ社會情勢ニ於キマシテ、是ガ昭和二十三年ニ消滅スルハ思ツテ居リマセスケレドモ、ドン／＼ト期限ガ迫ツテ來ルニ連レマシテ、金融ノ途ガ付カヌコトニナル、高知縣アタリハ信用組合モ、普通ノ金貨モ之ヲ擔保ニ取ツテ金ヲ貸シテ居リマスガ、此ノ方ノ建前カラ言ヘバ、二十三年ニ消滅スルコトニナルデアリマスカラ、擔保ガキカヌコトニナツテ居ル、隨テ賣買ノ價格モ下落スル、而シテ非常ニ不安ガツテ居リマスカラ、此ノ永小作權者ニ安シク耕作ヲ續ケシメ、土地ノ改良等モ安シクテナサシムルト云フ點ニ付キマシテ、速カニ何カノ方法ヲ講ジテ戴キタイト思フデアリマスガ、之ニ對シマスル農相ノ御所見ヲ御伺ヒシマス

○井野國務大臣 先ヅ第一點ノ原案拂下ノ問題デアリマスガ、是モ今日ノ食糧管理ノ建前カラ考ヘマシテ、出來ルダケ遊休設備ヲナクナシテ重點的ニヤツテ行クト云フ見地カラ、又精麥歩合モ政府ノ管理シテ居リマスル進ミ方ニ依ツタ方ガ精麥工合ガ極メテ能率的ニナルガ故ニ、今現在ノヤウナ拂下方法ヲ執ツテ居リマス、是モモウ少シ物ガ多クナリ樂ニナツテ參リマシレバ、色々方法モアラウト思ヒマス、今日出來タモノハ出來ルダケ能率的ニスル、其ノ數量ヲ殖ヤスト云フ行キ方カラ見マシレバ、今此ノ制度ヲ直グ變ヘルト云フ譯ニハ一寸困難デハナイカト思ヒマス、十分研究シテ見タイト思ヒマス

高知縣等ニ於キマスル舊慣永小作ノ問題ハ、今御述べノ通り、有馬農林大臣ノ時ニ農地法ヲ議會ニ提案シタ際ニ非常ニ問

題ニナリマシタコトハ、其ノ當時私ガ次官ヲシテ居リマシタノデ能ク承知シテ居リマス、今御話ノ通り此ノ問題ハ、農地地ト切離シテ別箇ノ對策ヲ講ズルコト云フコトニ於テ、アノ議會ニ於テハ農地法ノ修正ナクシテ通過シタノデアリマス、其ノ後農林省モ色々此ノ問題ニ付テハ調査モ致シ、又對策等ニ付キマシテモ研究ヲ續ケテ居リマスガ、昭和二十三年ノ問題デアリマスシ、今色々増産問題其ノ他決戰下ニ於ケル食糧問題ガ輻湊シテ居リマスノデ、直チニ之ニ對スル對案ヲ得テ居リマセヌ、併シ御話ノ通り金融關係、或ハ耕地ニ對スル愛情ヨリ生ズル増産問題ト云フ點カラ考ヘマシテ、成ベク早く斯ウ云フ問題ハ解決スルコトガ適當デアルト存ジテ居リマスノデ、私ト致シマシテモ今後折角此ノ問題ニ付テハ研究モ致シ、又善處致シテ參リタイト思ヒマス

○大石(大)委員 永小作權ニ對スル農相ノ御答辯ハ満足致シマス、是ハ二十三年デゴザイマスケレドモ、私ハ細カキコトハ申シマセヌガ、此ノ際永小作權ノ賣買モアリマシ、又永小作權ノ存シマスル所有權ノ賣買モアリマスガ、二十三年ニハナクナリマスカラ、賣ル方デモ非常ニ困ツテ居リ、又永小作權ヲ買ハントスル者ハ、期限ガ決マツテ居ルカラ躊躇シテ居ル、斯ウ云フコトガ日常起ツテ居ルノデアリマシテ、農民ハ非常ニ不安ヲ感ジテ居リマスカラ、色々事情モアリマセウガ、一日モ早く御解決下サルヤウニ御願ヒ致シマス

モウ一點伺ヒマスガ、増産ノ主眼ト致シマシテ役畜農業ノ獎勵ヲ盛シニオヤリニナツテ居ルシ、又農相ハヤラナケレバナラヌト云フ御話デアリマス、之ニ關聯致シマシ

テ食糧營團ガ行ヒマスル糠ノ問題デアリマス、是ガ陸運業者、即チ馬車ノ方ニ優先的ニ配給致シマシテ、農家ノ方ト牧場ニハ、中々糠ガ廻ツテ來ナイ、ソコデ農民ノ聲ハ、米ヲ供出シタ者ニハ供出量ニ對スル割合デ糠ヲ優先的ニ欲シイ、サウシナイト牛馬ハ飼ツテ行カレナイ、今日役畜農業ノ良イコトハ分ツテ居リマスガ、其ノ飼料ニ困ツテ居リマス、サウ云フ關係ガアリマスカラ、糠ハ米ノ供出量ニ對シテ、役畜農業ニ優先的ニ配給スルヤウニ御指導ヲ願ハレヌモノデアリマセウカ

○井野國務大臣 糠ノ處理ニ付キマシテハ、地方々々ニ依ツテ事情ガ違フト思ヒマス、都市ノ輓馬其ノ他ノ役馬ノ飼料ガ不足シテ居リマシテ、或ハ茶穀ヲ集メテ之ニ充テタリ、色々飼料ニ苦勞シテ居リマス、隨テ糠モサウ云ツタ方面ニ多ク流レト云フコトモアリマスガ、今後政府ノ撙節歩合強化ニ依リマシテ、糠ノ出來方ガ非常ニ少クナツテ來ルノデハナイカト思ヒマス、隨テサウ云フタ問題モ、寧ロ他ノ方面カラノ解決策ヲ考ヘテ行カナケレバ、都市農村ヲ通ジテノ飼料問題ニ付テハ、糠ニ依ツテ解決シテ行クコトハ出來難イ事情ニアリマスノデ、是等兩者ヲ併セマシテ、農林省トシテモ目下其ノ解決策ヲ研究シテ居リマス、糠ヲドウスルカト云フ問題ヨリモ、寧ロモツト迫ツタ問題ガアルデハナイカト云フヤウニ考ヘテ居リマス

○大石委員 私人質問ハ是デ終リマス

○東郷委員長 赤城宗徳君

○赤城委員 議會ノ内部ニ於キマシテモ、或ハ議會ノ外ニ於テモ、農產物ノ價格問題ガ非常ニ問題ニナツテ居リマス、農林大臣モ

屢々之ニ答辯ヲシテ居リマスシ、此ノ問題ヲ改メテ御尋ネスルコトハ御迷惑トハ考ヘテ居リマスガ、併シ斯ウ云フヤウニ價格問題ガ甚タトシテ騒ガレテ居ルト云フコトハ、今マデノ農林行政ノ失敗ト云ヒマスカ、農村指導ノ方針ノ誤リガ茲ニ到達シテ居ルデハナイカ、ソコデ大臣ハ價格操作ノミデハイカヌ、皇國農村ノ確立ト云フコトニ依ツテ之ヲ切替ヘヨウトシテ居ルコトハ能ク窺ヘルノデアリマスガ、併シ斯クノ如ク農產物價問題ガ甚タトシテ居ル時デアルト致シマスレバ、一應價格ノ問題ニ對シテ解決ヲ與ヘテ、今マデノ農林行政ニ對スル失敗ト云フカ、是ハ農林行政バカリデハアリマセヌ、國ノ指導方針モ間違ツテ居タノデセウガ、ソレヲ清算シテ、農林行政カラ云ヒマスレバ此ノ尻拭ヒヲシテ、新タニ皇國農村ノ確立ト云フコトニ切替ヘテ行カナクチャナラヌ、斯ウ云フ風ニ私ハ考ヘテ居リマス、ソレデ私ハ價格問題ヲ強ヒテ主張シタイトハ思ハナイノデアリマスガ、其ノ尻拭ヒヲスルト云フ意味ニ於テ、コソデ農林大臣ニ解決ヲ御願ヒシタイト云フ觀點カラ、價格問題ニ一寸觸レテ見タイト思フノデアリマス

第一ハ、此處ノ委員會デモ或ハ豫算總會等ニ於テモ屢々問題ニナツテ居リマスルガ、主要農作物ト不急農作物ノ價格ノ不均衡デアリマス、煙草作ガ非常ニ有利ダトカ、或ハ果物ガ有利デアルトカ、其ノ爲ニ主要農作物ヲ作ツテ國家ノ爲ニ奉仕シヨウト云フ翼贊農家ガ、兎角惠マレナイ立場ニアル、此ノ不均衡ニ對シマシテハ、農林大臣モ御認メニナツテ居ラレト思フノデアリマスガ、之ニ對シテドウ云フ御對策ヲ御持チデ

アリマス、昨日アナタノ話ヲ聴キマシテモ、山田委員ハ他ノ有利ナ作物ノ價格ヲ壓縮シテ、松山委員ハサウ云フコトヲセラレテハ蜜柑ナドハ困ル、斯ウ云フヤウナコトモ言ツテ居リマス、或ハ農林大臣ノ豫算委員會ノ御話ナドニ依リマシテモ、幾ラカ野菜ヤ果物ナドハ下ガテモ宜イ、ト云フヤウナコトヲ言ハレテ居ルヤウデモアリマス、又是ハ研究シナクチャナラヌト云フヤウナコトヲ言ツテ居ルノデアリマスガ、第一點ト致シマシテ、此ノ點ニ對シテドウ云フ御對策ヲ御持チデアリマス、御伺ヒシタイト思ヒマス

○井野國務大臣 只今ノ御質問ノ御趣旨ノ中ニ、今日價格政策ヲ斯クノ如ク各議員ガ言ハレルコトハ、農林政策失敗ノ跡デアル、此ノ跡始末ヲ先ヅ付ケテ行カナクチャナラヌト云フ御話デアリマスガ、價格問題ガ色々議論サレマス時ニ、ソレガ直ニ過去ノ政策ノ失敗デアルト云フ風ニ御判斷ニナツタノハ、ドウ云フ觀點カラカ私モ存ジマセヌガ、議會デモ毎年斯ウ云フ問題ニ付テハ色々ノ御意見ガ出ルノデアリマス、先般モ申上ゲマシタ通り、昨年ノ議會ニ於キマシテハ、所謂二重價格制度ヲ執リマシタ際デアリマス、ソレハ各議員ノ御要望ニ依ツテ私ハ解決ヲ致シ、農村モソレヲ以テ非常ニ満足ヲシテ戴イテ居ツタノデアリマス、隨テ其ノ當時ハ農業團體ノ統合ノ問題ガマダ出テ居リマセヌカラ、議會ハ非常ニヤカマシクソレヲ以テ私ニ迫ツテ居ラレマシタ、ソレガ今度解決致シマス、又價格問題ガ出テ來テ居ル、斯ウ云フ譯デアリマシテ、農林行政ノ失敗ト言ハレマスケレドモ、今マデ執ツテ參リマシタ農林行政ノドノ點ガドウ

失敗シタカラ價格問題ガ斯ウ云フ風ニナツテ來タカト云フコトヲ、能ク一ツ御檢討ヲ願ヒタイノデアリマス、唯問題ガ出タカラ何デモ農林行政ガ失敗シテ居ルト云フ風ニ即斷ヲ願ヒマス、是ハ農村ニ對スル農林省トシテノ威信ノ問題ニ關スルト思ヒマス、其ノ點ハ十分一ツ御研究ノ上、サウ云フ御質問ヲ御願ヒ致シタイト思フノデアリマス

唯第一點ノ御質問トシテノ問題ハ、是ハ私モ率直ニ、今日主要農產物價ト、果實並ニ蔬菜類ノ價格トノ問題ニ、均衡ヲ得テ居ナイ點ガアルト云フコトハ認メテ居リマス、併シ是モ別段農林行政ノ失敗カラ來タ不均衡デハナイノデアリマシテ、兎モ角統制經濟ガ段々ト進シテ參リマス時ニ、其ノ自ラ起ツテ參リマシタ色々ノ社會的ノ現象カラ生ジテ居ルノデアリマス、ソレヲ農林省トシマシテモ是正致スベク、果實、蔬菜ニ付テハ段々ト下ガテ來テ居リマス、野菜ノ如キハ寧ロ下ゲ過ギテ又出ナクナツタモノガアツテ、却テ野菜ノ問題ガヤカマシク言ハレテ、都會デハ困ツタ場合アルノデアリマス、單ナル一面面カラノ問題ヲ捉ヘテ農林行政ヲ御批判戴キマス、是ハ中々難カシイノデ、全般的ニ色々ノ方面カラ勘案シテ、其ノ適正ナル處置ヲ以テ處理シテ行キマセヌト、一方ダケ強ク解決シマス、又片方ニ非常ニ大キナ穴ガ開ク、此ノ議會ノ御質問ヲ御聽キ下サツテモ、例ハバ蜜柑ニ付テモ下ゲロト云フ御議論モアレバ、下ガラレテヤ大變ダト云フ御議論モアル、之ヲドウ農林省トシテハ考ヘテ行カカト云フコトガ、農林行政ノ最モ難カシイ點デアリ、又最モ注意シナケレバナラヌ點デアルノデ

アリマシテ、果實、蔬菜ヲ最近三、四回下ゲテ參リマシタ、併シ是モ一舉ニ下ゲテ參リマス、ソコニ農村ニ非常ニ惡影響ヲ及ボス部分モアルノデアリマス、順次下ゲテ參リマシテ、サウシテ其ノ適正ヲ圖ツテ居リマスガ、尙ホ不均衡ノ點ガアリマス、今後ハ之ヲ其ノ儘下ゲルガ宜イカ、或ハ生産者トシテノ價格ノ均衡ヲ得ル上ニ於テ、買入價格ヲ下ゲテ、賣渡シ價格ノ點ニ於テハ、其ノ下ゲタ價格ノ幅ヲ農村ニ還元スル方ガ宜イカ、サウ云ツタ點ニ付テハ今政府トシテモ研究ヲシテ居ルノデアリマシテ、兎モ角不均衡ノ點ハ是正スル方針ノ下ニ努力ヲ致シテ居ルト云フ點ヲ申上ゲテ置キタイト思ヒマス

○赤城委員 私ハ價格政策ガ失敗ダ、斯ウ云フ意味デハナイノデアリマス、或ハ又井野農林行政ガ拙イ、斯ウ云フ意味デハナイノデアリマス、農村ノ問題ヲ價格ノミト云ヒマス、價格ヲ中心トシテ展開サレテ來タ所ニ、價格問題ガ斯ウ云フ風ニ問題ニナツテ來テ居ルノダ、此ノ點ハアトデ順ヲ逐ウテ私ハ御尋ネシタイト思ヒマス、今ノ農產物價間ノ不均衡ハ、農林大臣ノ御答ヘニ依リマス、之ヲ價格ノ上デ操作バカリシヨウトスル考ヘ方、此ノ考ヘ方ガ私ハ拙イノデハナイカ、大體不急作物ヲ作ツテハイカスト云フコトハ、御承知ノ通り昭和十五年ノ實績ニ依ツテ、ソレ以上作ツテハイカスト云フコトデ抑ヘテ居ル、是ハ一ツ「ストツプ」令デス、物價問題カラ言ヒマスレバ、十四年ノ九月十八日「ストツプ」令ヲ出シタ、併シソレハ今上ゲテハイカスト云フ「ストツプ」ヲシタノデスガ、其ノ後協定價格ト云フモノヲ設ケテ、適當ナ價格

ヲ協定サレテ、之ヲ認可サレテ居ル、次ニ公定價格ノ制度ヲ設ケタ、斯ウ云フヤウニ單ニ「ストツプ」バカリデナクシテ、其ノ後物價問題ニ付テ展開ヲシテ居ル、所ガ重要農產物ト不急農產物トノ間ニハ、一旦「ストツプ」ヲシタト云フダケデ、其ノ後ノ展開ヲ一ツモ見テ居ラス、其ノ後ノ展開ハ價格ヲ均衡サセヨウト云フコトニ依ツテ是ガ均衡ヲ得テ行カウト云フダケデ、何等其ノ外ニ手ヲ打ツテ居ナイデヤナイカ、ガカラ價格ヲ中心トシテノ「ストツプ」ノミデハアリマス、之ニ非常ニ重點ヲ置イテノ農林行政ト云フコトヲ、コソ切替ヘテ行クベキデハナイカ、其ノ事ヲ私ノ考ヘカラ言ヒマスレバ、主要作物ト不急作物トノ價格ノ均衡ヲ執ルト云フコトバカリニ拘泥シナイデ、此ノ實績ヲ編成替ヘシテ見タラドウカ、例ヘバ主要作物ヲ一町ブリ作ツテ居ル者ニ對シマシテハ、不急作物デアツテモ一反ブリダケハ之ヲ許ストカ、或ハ一反ブリ位シカ主要作物ヲ作ツテ居ラス者ニ對シテハ、不急作物ヲ作ラセナイ、此ノ主要作物ヲ作ル者ト不急作物ヲ作ル者トノ間ニ、一ツノ均衡ヲ執レルヤウニシテ大キナ編成替ヘラスル、唯止メタ、禁止シタト云フダケデ、アトハ價格操作ダケデ行カウト云フコトデハナクシテ、斯ウ云フヤウナ行キ方デ主要作物ト不急作物ト「リシク」スルト云フヤウナコトデ此ノ操作ヲシテ行ツタラドウカ斯ウ云フ考ヘヲ持ツテ居ルノデアリマスガ、此ノ點ニ付キマシテ、農林大臣ノ御所見ヲ御伺ヒ致シマス

○井野國務大臣 私ハ不急作物ト云フ言葉モ餘リ使ヒタクナイト思ヒマス、今日蔬菜ガ相當ニ國民ノ食糧ノ上デ大事デアリマス

シ、果實モ或ル限度大事デアリマス、兎ニ角榮養關係カラ、色々ノ食物ト云フモノヲ農林省トシマシテモ、適當ニ按配シテ、其ノ供給ヲ圖ツテ居ルノデアリマスカラ、不急作物ダカラ徒ラニ禁止スルコト云フコトハ致シテ居リマセヌ、又兩者ノ關係モ、單ナル價格政策ダケデ私ハ解決シヨウトハ致シテ居リマセヌ、生産統制令等ニ依リマシテ、兎ニ角主要作物デアアル米麥重點デ、今日ハ總テノ増産ヲ致シテ居リマスカラ、ソレニ較ベ合ハセテ、如何ナル地ニ如何ナル蔬菜ナリ、或ハ果實ナリヲ適當トスルカト云フコトヲ考ヘマシテ、其ノ指導ヲ致シテ居ルノデアリマス、唯御話ノヤウニ一ツノ農家ニ、一方ニハ米ヲ作ラス、又一方ニハ果實ヲ作ラスヤウニ指導シロト云フ御話デアリマスガ、果實ヲ作ルトカ、米ヲ作ルト云フコトハ、自ラ立地條件ガアリマス、ドノ農家ニモサウ云フ風ナ指導ヲ致シマシテ、果シテソレガ出來ルト云フ御見込サウ云フ御議論ヲナスツテ居ラレドウカ、私ハ今日ノ狀態ハ、色々ノ從來ノ慣行ナリ又立地條件、色々ノ農業ノ實體ニ即シテ指導シテ行キマセスト、唯理念ナリ觀念カラ指導致シマスト、ソコニ大キナ間違ヒヲ生ジテ來ルト考ヘテ居リマスノデ、サウ云ツタ點ニ付キマシテハ、十分農林省ト致シマシテ、モ各方面カラ研究ヲ致シ、其ノ指導ヲ致シテ居ル次第デアリマス

○赤城委員 立地條件ニ依ツテ、例ヘバ靜岡縣ノ蜜柑トカ、和歌山縣ノ蜜柑、斯ウ云フコトハ分リマス、サウ云フ風ナ大キナ立地條件ニ立脚シタ點カラノ御話ハ能ク分ルノデスガ、唯同ジ小サイ村ノ中デ、ドウ云フモノデモ作レルヤウナ場合ヲ考ヘテ私ハ

言ツテ居ルノデアリマシテ、其ノ點ハ地域的ナ立地のナ大キナ一ツノ問題デアリマス、一ツノ村ノ中デ片方ハ唯十五年ノ實績ガアツタト云フダケデ、一反カラ五百圓モ六百圓モ、或ハ千圓モ收益ヲ擧ゲテ居ル、片方ハ眞面目ニヤツテ居ル爲ニ百圓カ五百圓シカ收益ヲ擧ゲテ居ナイ、之ヲ價格操作ダケデアツテ行カナイデ、之ヲ編成替ヘシテ、生産統制令ヲ相當ニ發動、或ハ色々ナ方法ニ依ツテ編成替ヘシテ見タラドウカ、サウ云フ點ヲ一ツ御考ヘ願ヒタイ、斯ウ云フコトナノデアリマス、大體此ノ點ニ付キマシテハ農林大臣ノ御意向モ分リマシタカラ、次ニ問題ニナツテ居リマス米價ト他物價トノ關係、斯ウ云フ質問ヲ繰返シノハ洵ニ御迷惑ダト思ヒマス、併シ私ハ前提トシテ申上ガマシタヤウニ、價格操作ニ依ツテノ増産ガ出來ルトハ、私モ農林大臣ノ仰シヤラレルヤウニ考ヘテ居ナイ、私ハ外ニモツツ方法ガアルト思フガ、是程マデニ米價ト他物價トノ問題ガ、議會ノ内部ニ於テモ論議サレテ居ル、コゴデ一ツ農林大臣トシテ一應キリ付ケテ、御考ヘニナツテ居リマスヤウナ大キナ指導精神デ再出發ト言ヒマスカ、グン／＼引張ツテ行クベキデハナイカ、一ツノキリ付ケルト云フ意味デ、コゴノ不均衡ヲ直シテ行ツタラドウカ、此ノ點ニ付キマシテハ農林大臣ハ生産費ガ償ハナクナツタ場合ナラバ兎ニ角、マダソレマデハ行ツテ居ラス、斯ウ云フコトモ仰シヤラレテ居ルヤウデアリマス、併シ大臣ト致シマシテハ、生産費ト云フヤウナ問題ヨリモ一ツノ時機、勘、斯ウ云フモノニ依ツテ勿論生産費ヤ其ノ他各種ノ條件ヲ御考慮シテカラデナクテハイケマセヌガ、一ツノ勘

ト云ヒマスカ、時機ト云フモノヲ十分御考ヘニナツテ居ラレト考ヘルノデス、一昨年ノ時モサウ云フ時機ダト思フノデス、其ノ點デ、私ハ色々生産費ヤ何カノ問題ハ申シタクアリマセヌ、農林大臣モ聽キ飽キテ居ラレト思フノデス、私ハ唯一ツ斯ウ云フモノヲ此ノ間讀シ、吉田松陰全集ヲ見マシタラ、斯ウ云フコトガ書イテアル、從前余謂ヘラク穀賤シケレバ農ヲ傷ルト云フコト空論ナリ、何トナレバ穀賤シケレバ飢渴ノ悲ナシ、且ツ棉ノ値モ穀ニ準ズル者ナレバ、寒凍ノ恐レモナシ、其ノ余ノ物ハ皆榮耀ノ現物ニテ民生ニ關係スルコトナケレバ、穀賤シクシテ民間錢貨乏シト云フコトモ飢寒サヘセザレバ外ニ憂フベキコトナシト、因ツテ此ノ説ヲ以テ老農森田忠助ニ質ス、忠助大イニ然ラズト云フ、其ノ説ニ云ハク「當今民間御馳走(特別附加税)ノ重キコト甚ダシ、往々六七ニモ及ベリ、然レドモ民尙勝々ニ太平ヲ樂シムコトヲ得ル者ハ、幸ニ米穀ノ値甚ダ賤シカラザルヲ以テノミ、若シ不幸ニシテ穀價大イニ下落セバ、何ヲ以テ金方ノ上納ヲ濟スベキヤ、往時乙酉丙申ノ飢饉民變等モ御馳走ノ重キハ今ト大庭徑アルニ非ズ、但ダ穀價是レヨリ前ニ甚ダ下落セシヲ以テノミ、嗚呼、危イカナ」ト、余ココニ於テ豁然トシテ穀價ノ下落ノ害ヲ悟レリ、是ハ自由經濟時代ノコトデアリマスガ、吉田松陰先生ハ勿論農政學者デハアリマセヌ、併シ時代ノ先覺者デアリマス、穀ノ値ノ問題ハ高イ必要ハナイノダト云フコトヲ考ヘテ居ツタンダガ、老農森田忠助ニ聞イテ見タ所ガ、サウジヤナイ、今ノ時代ガ危イノダ、今ノ時代ニ直サナケレバ危イ哉ト言ハレタノデ、豁然トシテ悟ツ

タト云フコトガ書イテアルノデス、尤モ其ノ後ニ是デハイカスト云フコトヲ言ツテ居リマスガ、私ハ是ハモウ農林大臣ガ各方面デ御答辯サレテ居ルノデアリマスカラ、敢テ答辯ハ求メマセヌガ、時機ト云フモノガアル、危イ哉ト云フ時機マデ持ツテ來テハイカヌ、ソレトモウ一ツノ點ハ價格ヲ中心トシテ動イテ居ツタ農業、是ハ農林大臣ノ失敗デモアリマセヌ、或ハ農業行政ノ失敗トモ言ヘマセヌ、農民自體モ價格ヲ追ウテ、金ヲ如何ニ多ク取ルカト云フコトニ今マデナツテ來テ居ツタノデアリマスカラ、是ハ何モ農林行政ノ失敗ダト私ハ申シマセヌガ、此ノ價格ヲ追ヒ利潤ヲ追求シテ、金ヲ如何ニ多ク取ルカ、其ノ爲ニ如何ニ金ヲ取レル經營ヲスルカト云フヤウナコトニ依ツテ農業ヲシテ居ツタ所ノ農業、或ハ農業行政ト云フモノヲ大轉換シナケレバナラス、ソレデナケレバ本當ノ皇國農村ト云フモノハ立ツテ行カヌ、其ノ大轉換ヲナス前提トシテ價格中心ノ政策ヲ、茲デ一ツ區切りヲ附ケテ行ツタラドウカ、其ノ點ニ於キマシテ或ル程度思ヒ切ツテ此ノ米價ト他ノ諸物價トノ不均衡ノ問題ヲ片付ケテ行ツタラドウカ、斯ウ云フ意味カラ申シテ居ルノデス、其ノ意味カラ申シテモ其ノ時機ガ大體來テ居ルノデハナイカ、來テ居ルカ來テ居ナイカト云フヤウナ御答辯ハ勿論戴クナイ御答辯デアリマスガ、サウ云フコトヲ能ク御考ヘ下サツテ此ノ間願ニ對スル御解決ヲ一ツ御願ヒシタイ、斯ウ云フヤウナ點カラ價格問題ニ觸レタノデアリマスガ、御答辯ヲ戴ケレバ結構デスシ、戴ケナケレバ先ニ進ミマス

○井野國務大臣 御前提ガ農林行政ノ失敗カラ始リマシタカラ、私ハ能ク御趣旨ガ分ラ

ナカツタノデスガ、段々御話ヲ承ツテ居ル内ニ御趣旨ガ分ツテ参リマシタ、結局價格中心デ農村ヲ指導シテ行クコトニ於テ、農民ニ利潤追求ノ觀念ヲ深カラシメ、自然ドウシテモ價格解決シナケレバナラナクナル、ガカラサウ云フ行キ方ヲスルヨリモ、皇國農村確立ト云フ農業經營ノ根本的ナ問題ニ切替ヘテ行ツテ、サウシテ農村ヲ指導スルコトニ依ツテ農民ノ利益ヲ保護シ、又農民ノ士氣ヲ昂揚シテ行クコトガ宜イ、ソレニハ此ノ際價格問題ヲ片付ケタ方ガ宜イノデハナイカ、斯ウ云フ御趣旨ダト段々分ツテ來マシタ、其ノ意味デ申上ゲマス、實ハ二重價格制度ヲ設ケマシタ時ニ、一應價格ノ問題ヲ片付ケタノデアリマス、サウシテ所謂食糧管理法ト云フモノヲアノ時ニ作ツタノデアリマス、食糧管理法ヲ御覽戴キマス、ト能ク分ルノデアリマスガ、政府ハ全部農村ノ作ル米ハ自家用保有米以外ハ買ツテシマフ、農村トシテハ自分ノ作ツタモノヲ、昔デアリマス、或ハ價格次第デ賣レモシ、賣レモセズト云フ非常ニ不安ナ狀態ニナルノデアリマスガ、今日ハ總テ生産ハ安心シテヤツテ呉レ、出來ルダケ作ツテ呉レ、幾ラ澤山作ツテモソレハ政府ガ買ツテシマフ、往年ノヤウニ豐作ニナレバ非常ニ米價ガ下ツテ農村ガ困ルト云フヤウナコトヲサセナイト云フ、食糧管理法ヲ昨年ハツキリ立テタノデアリマス、其ノ時ニ政府ハ、其ノ代リニ價格ハ勝手ニ大臣ガ之ヲ動かシタリ、又政治ニ依ツテ無暗ニ動かセナイヤウニ、チャント基準ヲ決メタノデアリマス、其ノ基準ガ生産費並ニ其ノ當時ノ物價指數ト云フモノヲ勘案シテ決メタルト云フコトニナツテ居ルノデアリマス、ソコデ私ハ生産費ト

云フモノヲヤハリ十分考ヘテ行カナイト、唯、今時機ガ好イカラ之ヲ上ゲル、時機ガ惡イカラドウスルト云フ、自分ダケノ責任デハ出來ナイヤウニ、法律デキツチリ基準ヲ決メテ居ルノデアリマス、其ノ意味ニ於テ今生産費等ガ調バツテ來ナイト、私トシテモ此ノ問題ヲ解決スルコトガ出來ナイ、斯ウ云フコトヲ此ノ間カラ申上ゲテ居ルノデアリマス、ガカラ食糧管理法ヲ能ク御覽戴イテ、第三條デアツタカ第四條デアツタカ吟味シテ戴ケバ、其ノ御質問ハ自カラ御分リニナルノデハナイカト思ヒマス、其ノ當時オイデニナラナカツタノデ御分リニナラナイノハ無理ハアリマセスガ、他ノ方ハ其ノ點ハ能ク御承知ノ上デ御質問ニナツテ居ラレルノデアリマスカラ、其ノ點ヲ私ハ區別シテ申上ゲタイト思フノデアリマス

○赤城委員 大變御教ヘテ有難ウゴザイマシタガ、ヤハリ食糧管理法中ノ生産費ノ問題ノ中ニハ勞賃ト言ヒマスカ、サウ云フコトガ生産費ノ中ニ入ツテ居ルト、ヤハリドウシテモ金ト云フモノヲ中心ニシタ考ヘ方ニナツテ、ソレカラ行クト價格問題ガ紛糾シタリ、重點ニナツテ來ルト私ハ思フノデアリマス、其ノ點ハソレダケニシマシテ、ドウシテモ金ヲ中心ニシタ農業ハイカヌ、ガカラ獎勵金ニ致シマシテモ五圓ノ獎勵金ヲ出ス、物ヲ澤山作レバ金ヲ出シテ之ヲ褒メテ行カウ、斯ウ云フコトデヤルナラバ、モウ少シ獎勵金ヲ貰ハナケレバ増産ヲシナイト云フヤウニ持ツテ來ルノデ、金ト連繫ヲ付ケタ増産指導ト云フモノハ改メナケレバナライ、獎勵金トシテヤルノナラバ、寧ロ肥料ヲヤルトカ、物ヲヤルトカシテ獎勵スルト云フコトノ方ガマダ宜イ、

是ハ農業者ニダケ物ヲヤルト云フコトハ他ノ均衡カラ出來マイト考ヘマスガ、考ヘ方トシテハサウ云フヤウナ考ヘ方デ行カナクテハナラナイ、斯ウ考ヘルノデアリマス

次ニ農林大臣ニ御尋ネシタイコトハ閣ノ橫行ノ問題デス、昨年夏頃カラ東北、北海道方面ヲ歩イテ参リマシタガ、縣廳ヘ行ツテ色々調査シテ見テモ、非常ニ閣ガ多イ、其ノ閣ノ中デモ農產物ノ閣ガ多イ、是ハ食フ物デアアルカラ勢ヒ閣ガ多イ傾向ニナルカト思ヒマスガ、農產物ノ閣ハ殊ニ多イ、此ノ原因、又之ヲ除イテ行クニ付テ農林大臣ハドウ云フ御考ヘヲ持ツテ居ラレルカ、伺ヒタイト思ヒマス

○井野國務大臣 統制經濟並ニ計畫經濟ガ段々進ンデ参リマス、其ノ間ニ於テ、其ノ規則ニ故意ニ違反スル場合、又法規ヲ知ラズシテ自ラ違反ニナル場合、色々場合ガアリマス、之ヲ閣ト普通稱シテ居リマス、法規ヲ能ク知リナガラ惡イコトヲスル稍、惡質ノ閣、是ハ嚴重ニ司法權ノ手ニ依ツテ取締ツテ行ク外途ガナイト思フ、國家ガ是ダケノ仕事ヲヤルト云フコトヲハツキリ國民ニ示シテ、ソレニ協力ヲ求メテ居リマスノニ、ソレニ對シテ故意ニ其ノ統制ヲ潛ツテ致ス行爲ハ、是ハドウシテモ取締ツテ行カナケレバナラヌト思フノデアリマス、併シ法規ノ不知ノ裡ニ色々經濟法規ニ違反スルト云フヤウナモノハ、是ハ法規自體ニ付テモ餘程私ハ考ヘナケレバナラヌト思フ、サウ云ツタ事態ガ多クナルヤウナ性質ノ法規デアレバ、ソレハ考ヘテ行カナケレバナラヌト思ヒマス、隨テ今日食糧關係ノ色々法規ノ上ニ於キマシテモ、十分又サウ云ツタ點ノナイヤウニ考ヘテ行カナケレバ

ナラヌ部分モアルト思ヒマスガ、何分ニモ物ガドン／＼生産ノ上ニ於テ窮屈ヲ感ジテ參ル、又供給ノ方面ニ於テハ需要ガドン／＼増シテ居ル、此ノ需要供給ノ均衡ノ「バランス」ガ非常ニ窮屈ニナツテ参リマシタ事態ニ即應致シマシテ、農林省ト致シマシテ色々法規ヲ作ツタノデアリマスガ、其ノ間ニ或ハ十分眼ノ届カナイコトモアルト思ヒマス、併シ是ハ今日ノ事態ヲ適正化スル爲ノ已ムヲ得ザル措置デアツタノデアリマスカラ、今後閣ノ問題ニ付キマシテハ能ク事態ヲ直視致シマシテ、ソレガ指導ニ依ツテ是正シ得マス部分ニ付テハ、十分考慮シテ参リタイト考ヘテ居リマス

○赤城委員 大臣トシテハ、今直接此ノ閣ヲドウシヨウカト云フ問題デアリマスカラシテ、サウ云フコトニ對シマスル熱意ハ十分吾々モ分ルンデス、私ハヤハリ先刻カラ申上ゲマスルヤウニ、大臣ガ皇國農村ヲ確立シヨウ、其ノ爲ニ色々ナ方法モ考ヘテ居ラレルヤウデアリマスガ、其ノ皇國農村確立ノ軸ト云ヒマスカ、筋金ニ付キマシマダハツキリ吞込メナイ、私ノ意見ヲ先ニ申上ゲテハドウカト思ヒマスガ、皇國農村ノ筋金ト云フモノハ、是ハ人口定有問題トモ關聯致シマスガ、人ヲ多クスル、或ハ耕地面積ヲ殖ヤス、或ハ有畜機械化農業ヲ獎勵スルト云フコト等ハ、何レモ適當デアルト思ヒマスガ、其ノ筋金ト云フモノハ、農村民ト云フモノノ本質、或ハ農業ノ本質ト云フモノヲハツキリサセテ、サウシテ農民ニ自信ヲ持タセル、其ノ農民ニ自信ヲ持タセルト云フコトハ何カト言ヒマスレバ、今マダ金ヲ獲得スルト云フコトニ立ツテ居ツタ立場カラ、物ヲ産ム立場ヘ轉換スル、開闢

ノ大道ヲ實踐スルト言ヒマスカ、金ヲ生ム
ノデハナイ、物ヲ生シテ行クノダ、日本ガ大
東亞戰爭ヲシテ居ルノハ國生ミダ、ヤハリ
農業ト云フモノハ物ヲ生シテ行クノダ、サ
ウシテ金ヲ使ハナイデ済ムヤウナ——勿論
今ハ金ヲ離レルト云フコトハ出來マセヌガ、
金ヲ成タケ支出シナイデ済ムヤウニ、金ヲ
成タケ支出シナイデ済ムヤウニナレバ、金
ヲ取ルト云フコトデナクシテ、物ヲ生ム方ニ
重點ガ置カレルノデアリマスカラ、サウ云フ
ヤウナ體制、一言ニシテ言ヘバ自給自足體
制、物ヲ中心トシテ農業ト云フモノガ變ツ
テ行ク、大臣バカリデナク多クノ人ガ大東
亞ノ自給トカ何トカト云フコトヲ言ツテ居
リマスガ、大東亞ノ自給ヲシナケレバナラ
ヌト同時ニ、農村、農家自體ガ自給自足ヲシ
テ、金ヲ餘リ必要トシナイヤウナ農村ノ體制
ニ此ノ際切替ヘテ行カナカツタラ、一方ニ
於テハ價格ヲ追ツテ行ク所ノ行政、或ハ考
ヘ方ヲ持ツテ居リ、片方デハ増産々々デ物ヲ
生ム立場ニ進メテ行ク、右ノ方ヘ走ル馬、詰リ
價格ヲ追ツテ行ク馬ト、左ノ方ヘ走ル馬、
詰リ増産スル馬ト、是ハ必ズシモ一致シナ
イ譯デハアリマセヌガ、兎角現狀ノ儘デハ
一致シマセヌ、右ト左ト兩方ノ手綱ヲ持ツ
テ走ラセ、サウ云フコトデハ大東亞戰下
ノ農村ト云フモノノ正シイ姿ハ現ハレテ來
マセヌ、農村ハ全ク破滅シテ來ルデヤナイ
カ、ヨク引用サレル言葉デアリマスガ、此
ノ間内原デ谷萩大佐ガ演説シタ、私ハ演説
ヲ聽イタ譯デハアリマセヌガ、此ノ中ニハ
相當突込ダコトヲ言ツテ居リマス、新聞
デ見タデデアリマスガ、「農村ノ時局ヨリ
受ケタ影響ノ中デ主ナルモノハ統制諸機關
ニヨル利潤ノ不當壟斷、軍需工場或ハ住宅

營團ノ田畑侵蝕、公定價格ノ矛盾ヨリ來ル
主食物作附ノ不利、闇ノ横行、都市農村ノ
諸物資配給上ノ差別、時局産業界ノ殷盛等
ニヨル不良感等デアツテ、コレガタメ農村
ハ荒廢シ農民思想ハ惡化シ離農、小作地返
還、青少年ノ都市憧憬、主食物作附嫌忌乃至
輕視、生産物ノ不當確保、闇取引等ノ惡風
ヲ醸成シツツアリ」ト、斯ウ云フコトヲ言ハ
レテ居ル、之ニ對シテ軍部ハ率直ニ之ヲ肯
定シテ居ルト云フヤウナコトマデ言ハレテ
居ルノデアリマス、コトデ本當ニ皇國農村
ヲ確立シヨウト云フノデアレバ、今マデノ
農家ハ金ヲ澤山取ラナケレバ農業ト云フモ
ノハヤツテ行ケナカツタ、斯ウ云フ指導ト
云ヒマスカ、斯ウ云フ體制ヲ切替ヘナクチ
ヤナラス、闇ノ問題モサウデス、闇ノ問題
ガ都會ニ接觸シタ農村ニ非常ニ多イト云フ
コトハ、是ハ公知ノ事實デアリマス、サウ
云フ農村デハドウシテ闇ガ多イカト言フト、
從來商業主義的ナ農業ニナツテ居リマス、
デスカラドウシテモ金ト云フモノヲ中心ト
シテ動イテ居リスカラ、金ヲ澤山取ラナケ
レバ募シガヤツテ行ケナイ、出ル金ガ非常
ニ多イトデス、ソコデ勢ヒ闇ト云フモノガ
都市近クノ農村ニ行ハレテ居ルト云フヤウ
ニ私ハ見テ居ル、此ノ商業主義的農村ヲ、
本當ノ農村ノ姿ニ直シテ行クト云フ所ニ大
キナ農林行政ノ轉換ガアルノデハナイカト
思フノデアリマスガ、其ノ點ニ付キマシテ
御意見ヲ御伺ヒシタイト考ヘマス

其ノ方面ニ向ツテ色々ノ鍊成施設ナリ、或
ハ精神的昂揚ノ精神運動ナリヲ致シテ、農
村ヲ其ノ方向ニ導クコトニ努力ヲ致シテ居
リマス、併シ農村自體ニ今御話ノヤウニ多
少ノ闇ガアツタリ、或ハ價格問題ヲ云々致
シタリ致スコトヲ以テ、農村自體ガ今日全
ク營利的ナ産業ヲ營ム人々ノミヲ以テ組織
サレテ居ルト云フ風ニハ、私ハ見テ居リマ
セヌ、農村ハ昭和四年カラ八年ニ互ル大恐
慌ノ時代ニ於キマシテモ、價格ノ點カラ行
ケバ、恐ラク他ノ産業デアレバ悉ク他ノ産
業ニ轉換シテ居ルヤウナ時期ニ於キマシテ
モ、農民ハヤハリ父祖傳來ノ家業ヲ守リ拔
イテ、サウシテ苦シイ所ヲ政府ノ援助ニ依
ツテ切抜ケテ行カウトシタ其ノ努力ハ、是
ハ決シテ單ナル利潤追求ノ觀念カラ生ジテ
來ル事態トハ、私ハ見テ居ラナイノデアリ
マシテ、其ノ後ノ色々ナ事情ヲ見テ居リマ
シテモ、唯利潤追求ト云フ觀念デ決シテ農
村ヲヤツテ行ケルモノデハナイノデアリマ
ス、若シモ農村自體ガ利潤追求ダケノ觀念
デ作業ニ從事スルナラバ、疾ニ離農問題ガ
モツト大キク行ハレテ居ナケレバナラヌト
思フノデアリマス、今日ノ離農離村ト云フ
問題ハ、此ノ時局ニ於ケル他ノ産業ノ色々
ナ變化ニ即應致シマシテ發生シテ居ル問題
デ、農村自體ノ本質カラ來タモノデハナイ
ノデアリマス、其ノ點ハ今日大和民族ノ培
養基地トシテ、農村ヲシテ立派ナ皇國農村
タラシメ、以テ是ガ國家要請ニ即應セシメ
タイト考ヘテ居リマスノモ、農村自體ヲ私
共ハツキリ認識致シ、ソレニ基イテノ指導
精神ヲ確立シテ居ルノデアリマスカラ、是
ハ政府ノ指導如何ニ依リマシテ、決シテ御
心配ノヤウナ方向ニハ私ハ參ラナイト信ジ

テ居ルノデアリマス、隨テ御意見ニハ私ハ
少シモ異議ハナイ、サウ云フ方向ニ進ムコ
トニ努力ヲ致シ、又色々ノ施設モ致シテ行
カナケレバナリマセヌガ、指導宜シキヲ得
テ參リマスレバ、決シテ御心配ノヤウナコ
トニハナラナイト云フコトヲ申上ゲテ置キ
タイト思ヒマス

○赤城委員 私ハ農村ガ利潤追求デヤツテ
居ルンダト言フ譯デハナイノデス、農村ガ利
潤追求ヲシテ居ナイカラ、日本ハ今マデ持
ツテ居ツタ、是ガ「イギリス」ノヤウナ農村
デアツタリ、外ノヤウナ農村デアツタラ、日
本ハ持ツテ來ナカツタ、ダカラ農村ガ利潤追
求ヲシテ居ルト云フ譯デハナイノデ、價格
ヲ中心トシタ利潤追求のナ今マデノ行キ方
ヲ改メナイデ其ノ儘ニ行クヤウナコトガア
リマスレバ、農村ハ利潤追求ト言ヒマス
カ、價格ヲ中心トシタ點カラ考ヘマスレ
バ、工業ヤ商業ト到底歩調フーツニシテヤツ
テ行ケルモノデハアリマセヌカラ、サウ云
フ點カラ從來ノヤリ方ヲ改メテ、皆強ク選
シイ大和民族培養基地トシテノ農村ヲ再建
シテ行ク、確立シテ行ク、サウ云フ意味合
デ申上ゲタ譯デアリマス、其ノ點ハ私ガ利
益追求、利潤追求ガ農村ノ現在ダト云フヤ
ウナコトヲ言ツタノデハアリマセヌカラ、
御承知願ヒタイト思ヒマス

ソレデ此ノ農村カラ商業主義的ナモノヲ
除イテ行クト云フヤウナコトガ私ハ必要デ
アルト思ヒマスガ、斯ウ云フ根本問題バカ
リ言ツテ居ツテモ時間ヲ取リマスカラ、具
體のナ問題ヲ一ツ御聽キシタイノデアリマ
スガ、御承知ノ通り小賣業ノ整備ヲヤツテ居
リマス、是ハ閣議決定ノ事項デアリマシ
テ、單ニ商工省トカ農林省トカノ仕事デハ

アリマセスガ、大體十三年アタリノ二百二十萬戸ノ小賣業ノ内、百十五萬戸、即チ半分以上ハ農林關係ノ物ヲ扱ツテ居ル小賣業ナノデアリマス、是ハ今小賣業ノ整備ト云フコトヲ非常ニ進メテ居リマスガ、各省ノ間デ兎角歩調ガ一致シテ居ナイノデハナイカト云フコトモ言ハレテ居リマス、私ハ或ル席デ、農林省ノ或ル相當ナ人カラ聞イタノデスカラ、サウ云フコトハ餘リ斯ウ云フ席デ言フベキデハアリマセスガ、農林省トシテハ、治安ト云フ問題ヲ非常ニ重視シテ居ルノデアルカラ、内務省ト能ク連絡ヲ執ツテ、小賣業整備ヲ進メテ行ツテ居ルノダト言ハレタ、是ハ尤モデアリマス、併シ實際問題トシテ餘リ積極的ニ此ノ整備ハシタクナイノダト云フコトモ洩ラシマシタ、其ノ後ソレハ一寸言葉ガ足ラナカツタノダ、今指定サレタ業種ノモノニ對シテハドン進メルガ、其ノ後ニ付テハマダ考ヘナインノダト云フコトヲ言ハレテ居リマシタガ私ハヤハリ此ノ小賣業ノ整備ト云フモノハ、商工省ノ問題バカリデナク、農林關係ノ物ガ非常ニ多イノデアリマスカラ、農林省ト致シマシテモ、要綱決定、其ノ他ノ通牒、指示ニ依ツテ、寧ろ商工省ヨリモ進ンデ小賣業ノ整備ヲヤルベキダト斯ウ考ヘルノデアリマスガ、此ノ點ニ付テモ御意見ヲ御伺ヒシタイト思ヒマス

○井野國務大臣 中小商工業ノ整備ノ問題ニ付キマシテハ、從來主トシテ是ハ商工省ノ所管デアツタノデアリマスガ、食糧品ノ關係、其ノ他ノ中小商工業ノ所管ガ農林省ニ移リマシテカラ、是ハ兩省ニ分レテ色々ナ整理統合ヲ致シテ居リマシタ、併シ兩省ノ間ニハ色々事情ガ違ヒマスカラ、其ノ進

ミ方モ違ツテ居リマシタガ、是ハヤハリ政府トシテ統一シタ方ガ然ルベキダト云フコトカラ、企畫院ヲ中心ニシマシテ閣議決定ヲ經マシタ上デ、此ノ業種ハ整理スル、此ノ業種ハ先ヅ第二次のニ考ヘルト云フ風ニ色々品目ヲ決メテ、今日ハ統一シテ當ツテ居ルノデアリマス、農林省所管ノ中小商工業ノ整備ニ付キマシテハ、相當私トシテモ思切ツタ整備ヲ致シマシタ、米屋ノ如キハ隨分全國ニ互ツテ多數ノ整備ヲ致シタノデアリマス、東京市ノ如キハ一万軒ノ米屋ヲ千何軒ニシテ、之ヲ食糧營團ニ改變シタト云フヤウナ整備ヲ致シテ居リマス、又炭、菓子、色々モノノニ付テ相當ニ整理モ致シマシタシ、又中央卸賣市場ノ仲買人問題モ、是ハ非常ノ多年ノ懸案デアリマシタガ、私トシテハ其ノ廢止モ致シタノデアリマス、斯ウ云ツタ譯デ、必要ナ部分ニ付キマシテハ、農林省トシマシテモ相當思ヒ切ツタ整理ヲ致シテ參リ、其ノ轉廢業ノ處置ニ付キマシテモ等處致シテ參ツテ居ルノデアリマシテ、決シテ農林省ガサウ云フ問題ニ遡巡シテ居ルト云フコトハナイノデアリマス、事情ニ即應シタ措置ニ付キマシテハ、果敢ナル措置ヲ執ツテ參ツテ居ルノデアリマス、併シ徒ラニ中小商工業ノ整理ト云フ名前ニ囚ハレテ、必要以上ノ整理ヲスル必要ハナイ、是ハヤハリ各個人ガ父祖傳來ノ仕事ヲ營ンデ居リマスル以上、單ナル理念或ハ理想カラ之ヲ整理スベキモノデハナク、實情ニ即シタ、又將來ヲ見透シテ、其ノ事業ニ親切ナル方向ニ於テ是ガ整理ヲ致スコトガ適切デアルト私ハ信ジテ居ルノデアリマス、今後モ斯ウ云ツタ氣持デ此ノ問題ハ處理シテ參リタイト思ツテ居リマス

○赤城委員 小賣業整備要綱ニ依リマス、整理シタ後ノ配給業者ト、産業組合其ノ他ノ農業團體ノ事業ノ分野ヲ、追ツテ決定シテ通知スルト云フヤウナコトガアツタヤウデアリマスガ、此ノ點ニ付キマシテ商業者ノ方カラ非常ニ色々ナコトヲ言ツテ居ルコトヲ吾々モ耳ニシテ居リマス、ソコデ是ハ物ニ依ツテ事業分野ヲ決メヨウトスルノデアリマスカ、或ハ又農村地帯ハ農村地帯、都市地帯ハ都市地帯、サウ云フ風ナ方向ニ進メヨウトスルノカ、或ハ又現在ノ儘デ置クノカ、サウ云フ點ニ付キマシテ一ツ御意見ヲ御聽キシタイト思ヒマス

○赤城委員 ヤハリ小賣業整備要綱ニアリマスノデ、抽象的デアツテモ何デアツテモ、斯ウ云フ風ニ行クノダト云フコトヲ指示サレタ方ガ私ハ宜イノデハナイカト斯ウ考ヘルマス、其ノ點ハソレト致シマシテ、農業團體法ヲ見テミマスルト、大臣ハ非常ニ指導精神其ノ他ヲ考ヘテ居ルヤウデアリマスルガ、農業團體法其ノモノカラハ非常ニ指導的ナ精神のナヒガ感ゼラレナイ、農業ノ整備發達ヲ圖ルト云フヤウナコトガ主目的デ、ドウモ色々此ノ委員會其ノ他デ聽イテ居ル指導精神ガ盛ラレテ居ラナイト云フヤウナ感ジガスルノデス、私ハ此ノ農業團體法ノ中デ、一體「農業營業者」ト云フ者ガ世帯主デアルト云フコトデアリマスガ、農業ニ於テハ家ト云フモノヲ認メテ行ク必要ガ十二分ニアルノデハナイカ、申スマデモナク各、其ノ所ヲ得テ居リマスルノ家デアリマス、家族デハ老幼男女各、其ノ所ヲ得テ居ルノデアリマシテ、此ノ家族ト農地、土地ト云フモノノクツ付キ、是ガ非常ニ此ノ農村ノ尊イ所ナンデアリマ

○重政政府委員 只今ノ御質問ノ産業組合ト商業組合トノ間ノ調整ノ問題デアリマスガ、是ハ只今御述ベニナリマシタヤウニ、物等ニ依ツテ之ヲ如何ニ調整スルカト云フコトヲ考ヘルノモノツツ考ヘ方デアラウト思フノデアリマス、或ハ又農村、都市等ニ於テ各々サウ云フ角度カラ考ヘテ行クノモノツツ方法デアアル譯デアリマス、此ノ問題ニ付キマシテハ、御述ベニナリマシタ通りニ、先般閣議ニ於テ地方長官ニ指示致スコトニ決定ヲ見テ居ルノデアリマス、先ニ御述ベニナリマシタヤウナ色々ノ角度カラ現在之ヲ研究ヲ致シテ居ル譯デアリマス、併シ私共ト致シマシテハ、調整ノ指示ヲ致スコト云フコトニナリマスルト云フト、勢ヒソコニ抽象的ナ一ツノ基準ヲ設ケザルヲ得ナイコトニナルノデハナイカ、抽象的基準ニ依ツテハ、此ノ問題ハ中々解決ヲ致サナイノデハナイカト云フ風ニ現在ノ所デハ考ヘテ居ルノデアリマシテ、サウ云フ意味ニ於キマシテ、色々研究モ致シテ居ル譯デアリマス、併シソレガ出來ナケレバ、各地方ニ於キマシ

ス、從來ノ個人相手ノ考ヘ方ヨリモ、少ク
トモ農業團體法等ニ於キマシテハ、個人ト云
フヨリモ家ト云フモノヲ對象トシテ立案ス
ベキモノデハナカッタカ、家ノ大切ナコト
ハ誰モ知ツテ居リマスガ、何處デ斯ウ云フ家
ト云フ觀念ヲ入レテ行クカト云フナラバ、
農林行政デ入レテ行クノガ一番適シテ居ル
シ、此處ナラバビツチリシテ居ル、本當ノ家
ト云フモノガ農村ニハマダ殘ツテ居ル、私ハ
此ノ團體法ノ中ニモ家ト云フ觀念ヲ入レテ欲シ
イ、斯ウ云フ風ニ考ヘテ居ルノデアリマス、
指導精神ハサウダト仰シタルノデアリマセ
ウガ、是ハ非常ニ必要ナコトダト考ヘル、
此ノ間共同作業ノ話、共同炊事ノ話モ出マ
シタガ、此ノ共同作業ナドモ、吾々ガ初メ
獎勵シ始メタ頃ニハ、ヨク學校ノ先生ナド
ガ、是ハ共產主義ナンダ「ロシヤ」ノ「コル
ホーズ」式ノモノダ、皆同ジヤウニ共同共
同ト言フノハイケナイデハナイカト云フコ
トヲ或ル座談會デヤリマシタノデ、共同作
業ガ非常ニマツク行ツタ事態ガ私ノ近クナ
ドニモアルノデス、私ハ其ノ時ニ能ク話シ
タノデスガ、一體家ト云フモノハ各、其ノ所
ヲ得テ居ル、老幼男女其ノ所ヲ得テ居ルノ
ダ、此ノ家ガ五軒ニナリ六軒ニナリ、サウ
シテ一部落ニナル、サウシテ農事實行組合
ナラ農事實行組合全部デ各、其ノ所ヲ得テ行
ク、家ノ擴大ト云フモノガ共同作業デアリ、
共同炊事デアリ、或ハ託兒所デハナイカ、
斯ウ云フ風ニ話シテドンノ進メテ居ルノ
デアリマスガ、指導ノ方法ニ依ツテハ左翼
的ナ風ニモ考ヘラレマスルシ、又本當ニ日
本ノ農村ト云フモノヲ考ヘ、家ト云フモノ
ヲ考ヘテ行キマスレバ、是ハ日本のナモノ
ニモ指導出來ル、サウ云フ點カラ考ヘマシ

テモ、私ハ家トソレカラ耕地ト云フモノガ
クツ付イテ行カナケレバナラヌト思フ、少
クとも農業團體法ノ中ナドニ於テハ、此ノ
家ト云フ觀念ヲ尊重シテ行カナケレバナラ
ナイ、話ハ外レマスガ、此ノ間大臣ガ居ラ
レナイ時ニ、條文ニ關聯シテノコトデアリ
マスノデ、私ハ簡單ニ意見ヲ申述ベタノデ
アリマスガ、木材ガ非常ニ足ラス、木ヲ出
セヨト云フコトデ——是ハ大政翼贊會アタ
リデヤツテ居ルコトデ農林省ト云フ譯ニハ
行キマセヌガ、兎モ角二月十一日ヲ期シテ
供木運動ヲヤツタ、サウシテ或ル新聞ナド
ヲ見マス、大キナ見出シデ鎮守ノ森ヲ伐
リ倒セト云フヤウナコトガ出テ居ル、是ハ
小サイ問題ノヤウデアリマスケレドモ、子
供ヤ其ノ他ノ人々ガ聞イタナラ非常ニ變ニ
考ヘルノデハナカラウカ、吾々ハ村ニ於テ
モ、神社ヘ獻木シヨウト云フノデ獻木運動
モヤツテ居ルシ、神社ノ木ハ枯損本デ、枯
レタ木ヲ一本伐ルノデモ、ソレヲ伐ル爲ニ
ハ知事ノ認可ヲ得ナケレバナラス、サウ云
フ風ニ神社ノ木ト云フモノハ大切デアル、
ダカラ木ヲ出スコトハ宜イガ、鎮守ノ森ヲ
伐リ倒セト云フヤウナ考ヘ方デ行クト——
米ガ出來タ時ニハ神社ヘ行ツテ新穀ニ感謝
ヲスル、片方デハ木ガ足ラスカラ木ハド
ン伐ツテシマヘト云フヤウナ指導ヲ翼贊
會アタリデスルト云フコトハ、是ハ影響ス
ル所ガ大キイヤウニ私ハ考ヘルノデアリマ
ス、是ハ大臣直接ノ關係デモアリマセヌカ
ラ、斯ウ云フコトヲ申上ゲルノハドウカト
思ヒマスガ、若シ機會ガアツタナラバサウ
云フコトハ考ヘ方ヲ直シテ戴キタイト思フ、
ソレハ兎モ角此ノ家ノ觀念ト云フコトニ付
キマシテ、農業團體法ヲ通ジテドウ云フ風

ニ御考ヘニナツテ居リマスカ、御所見ヲ伺
ヒタイト思ヒマス

○井野國務大臣 農村ニ於キマスル家ノ觀
念ニ付キマシテハ、固ヨリ只今ノ御意見ト
私ハ同感デアリマス、今日我が國體ノ精神
カラ考ヘテ見マシテモ、所謂家族制度ト云
フモノガ日本ノ大キナ特徴デアルト私ハ
考ヘテ居ルノデアリマシテ、殊ニ農村ニ於
テ出來ルダケ此ノ觀念ヲ強ク植付ケ、サウ
シテ之ヲ盛リ立テテ行クト云フコトノ點ニ
付テハ、農林省トシテモ極力其ノ方針ノ指
導モ致シ、努力モ致シテ居ルノデアリマス、
隨テ法文ノ中ニモ農業者ト書イデアリマス
ノハ、所謂其ノ世帯主ヲ指スノデアリマシ
テ、農業ヲヤツテ居ル者ナラバ、家族デモ
誰デモ其ノ會員ニナルト云フヤウナ立テ方
ニハシテ居ナイノデアリマス、世帯主ヲ以
テ其ノ會員トシ、アトハ家族トシテ其ノ世
帯主ノ指揮命令ノ下ニ農業ヲ營ンデ行クト
云フ方針ノ下ニ——是ハ條文ノ立テ方デア
リマスケレドモ、サウ云フ精神デ規定シテ
居ルノデアリマス、デアリマスカラ、單ニ
指導的ナ方面ダケデナク、法制ノ立案ニ當
リマシテモ、其ノ觀念ヲ織込ンデアルノデ
アリマシテ、只今ノ御質問ト全ク私ハ其ノ
趣旨ヲ同ジウシテ居ルト考ヘマス

○赤城委員 人口定有ノ問題ニ付キマシテ
モ尙ホハツキリセヌコトガアルノデアリマ
スガ、餘リ時間ヲ取リマスカラ此ノ程度デ
私ノ質問ハ打切りマス

○東郷委員長 本日ハ是ニテ散會致シマス、
明日ハ午前十時カラ開會致シマス

午後零時十分散會

昭和十八年二月十三日印刷

昭和十八年二月十四日發行

衆議院事務局

印刷者 内閣印刷局